

平成30年西野田工科高等学校 学校運営協議会（全日制部会）

日時：平成30年5月30日（水） 午後3時から5時

場所：西野田工科高等学校 校長室

出席委員：（敬称略）関元、立石、田中、長谷川、堀、矢野

学校関係：富田校長、小笠原事務部長、梶田教頭、

山根首席、長澤首席、林生活指導部長、難波進路指導部長

議事録

校長：（あいさつ）

校長：（学校運営協議会要項等について説明）

司会：会長、副会長を互選により選出

互選により関元氏を会長に、立石氏を副会長に全員一致で選出

会長：次第により進行します。

（学校状況報告）

学校：生活指導の方針は別紙のとおりです。遅刻を減らす指導を重点的に実施している。今年は、懲戒指導が増加している。

委員：退学の理由に遅刻が関係するのかわ。他の理由があるのではないか。経済的な理由はないのか。

学校：退学の理由は様々である。遅刻の多い生徒は、欠席も多いので成績に影響している。その結果、退学や転学になる生徒が多い。

校長：就学支援制度など様々経済面の支援があるので、経済的な理由が退学の主因にはならない。

委員：遅刻などは小中学校から指導の影響もある。学校によっては、遅刻が皆無の学校もあるので、遅刻がよくないという雰囲気づくりをするとよい。

校長：3年前までは遅刻が多かった。遅刻しても平気な雰囲気があったが、遅刻する生徒が減っていけば、遅刻に対する生徒の意識も変わってくる。今年は、生徒に厳しい遅刻指導であることも理由であるが、遅刻の生徒が激減しているので、遅刻は良くないというような雰囲気になっている。

学校：昨年の進路の状況は別紙のとおりです。求人が多く内定率は良いが、離職率が高いことが課題

委員：労働者の権利などについて制度などを知っておく必要があると考える。生徒には指導をしていくとよい。指導はしているのか。

学校：昨年は2月に労働局の職員による講演を実施した。必要な取組みと認識しており、今年は、6月に行うことにしている。これまでは業務内容から系の求人票の振り分けをしていたが、昨年からは、系の指定した事業所だけを振り分けるようにした。

校長：イベント的な講演を計画的に実施することは必要であるが、学校生活の様々な場面で指導することができると考えており、全ての教育活動で進路指導をしている。

委員：求人は多いが、就職先など関係ある企業は絞られると思う。現在は売り手市場だから、企業訪問などを継続して、学校との関係をきちんと構築しておくことが大切である。

（学校経営計画について）

校長：(今年度の経営計画と取組みについて説明)

委員：学校の方針はよい。どう生徒に伝えるかが大切。

委員：学校の経営方針は、全員の先生が日頃の教育活動のなかで、生徒へ伝えたり指導していくことが必要である。

委員：広報が大切である。工科高校は魅力があると思うが、中学や塾への働きかけが必要。

委員：進路選択では、塾の指導の影響も大きい。保護者は、どうしても大学進学ということを考えている。実業系の魅力も中学では伝えており、先生方は理解しているが、保護者の判断が影響している。

校長：去年は塾も訪問したが、実業系への進学指導はしていないというのが実態。塾の指導の中心は普通科の学校へ行くために勉強をさせている。塾側への広報は難しく感じている。

委員：学校の魅力を地道にアピールするしかない。学校の評価が一旦悪くなると改善は難しい。広報活動を継続して欲しい。

校長：本校に限らず、府内のすべての工科高校では生徒が集まらないので苦労している。

委員：卒業生の進路先や学校での活躍をPRするチラシを作っている高校もある。就職が良かったり、学校の魅力もあるので、広報の手段として考えてみてはどうか。

校長：保護者からの意見はありませんでした。

会長：多くの意見を頂きました。学校運営協議会を終了します。

(その他)

校長：(あいさつ) 次回は、10月19日に行います。